

一般国道258号

だいそう
大桑道路

(道路事業)

説明資料

令和5年7月28日

中部地方整備局
岐阜国道事務所
北勢国道事務所

目 次

1. 事業概要	
(1) 事業目的	P 1
(2) 計画概要	P 2
2. 事業の進捗及び見込みの視点	P 3
3. 費用対効果分析	P 4
4. 県・政令市への意見聴取結果	P 5
5. 対応方針(原案)	P 5

1. 事業概要

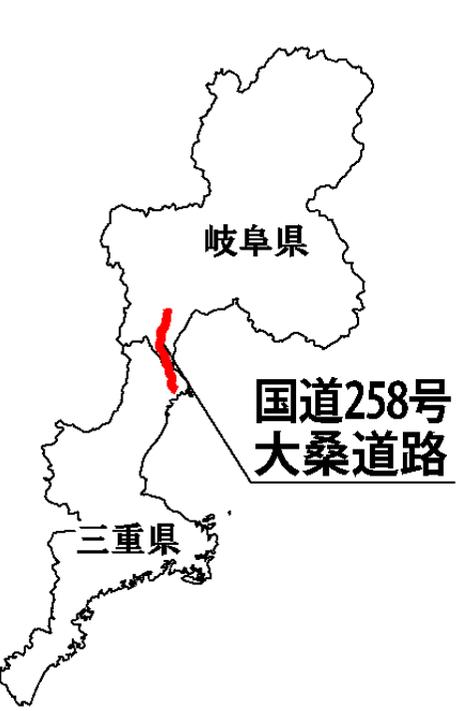
(1) 事業目的

一般国道258号大桑道路は、岐阜県大垣市楽田町から三重県桑名市大字小貝須字柳原に至る延長41.6kmの道路であり、国道258号周辺及び西濃・滋賀方向から名古屋港・四日市港への物流軸を担う道路です。

東海環状自動車道の全線暫定供用時には、大桑道路は主に沿線地域の交通、東海環状自動車道は高規格ネットワークを形成し広域的な交通を担うことが期待されています。

暫定2車線区間には、事故危険区間(2箇所)などの課題があり、本事業は、課題解決のために引き続き4車線化整備をすることで、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、沿線地域生活の支援等の効果を見込んでいます。

大桑道路の全体位置図



凡例	
完成	暫定
	大桑道路
	高速道路等
	一般国道
	主要地方道
	事故危険区間

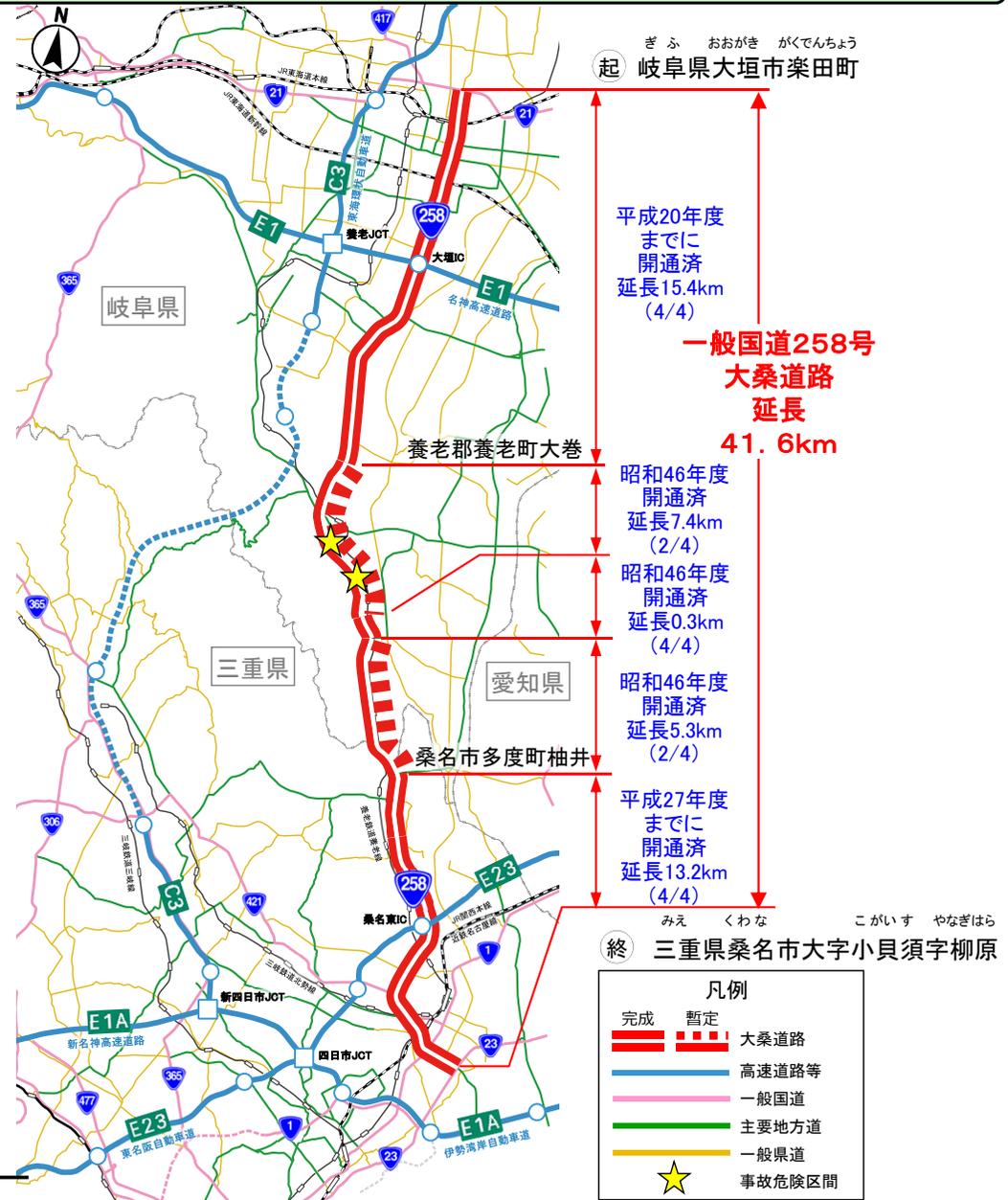
1. 事業概要

(2) 計画概要

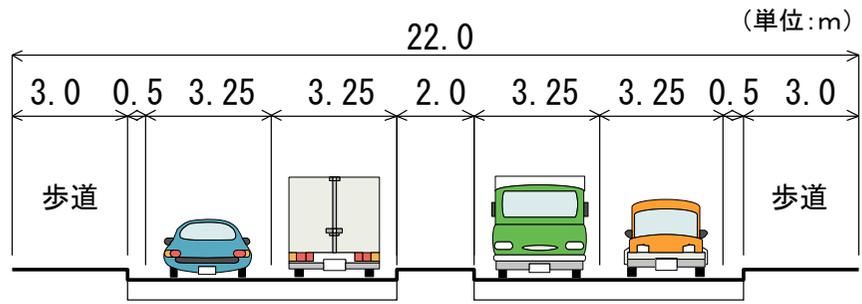
■大桑道路は、昭和40年度に事業化し、平成27年度までに28.9kmが完成4車線で開通しています。

■今後は、残る暫定2車線区間の4車線化を実施予定です。

事業名	一般国道258号 大桑道路
道路規格	第4種第1級、第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
都市計画決定	<当初> 昭和40年度(旧多度町・桑名市境～国道23号) 昭和43年度(岐阜県側) 昭和53年度(岐阜・三重県境～旧多度町・桑名市境) <変更> 平成8年度
事業化	昭和40年度
計画交通量	26,300台/日
用地着手年度	昭和40年度
工事着手年度	昭和40年度
延長 (供用済延長)	41.6km (28.9km 完成4車線開通 12.7km 暫定2車線開通)
前回の再評価	令和3年度(指摘事項なし:継続)
全体事業費	310億円(増減なし)



標準断面図



2. 事業の進捗及び見込みの視点

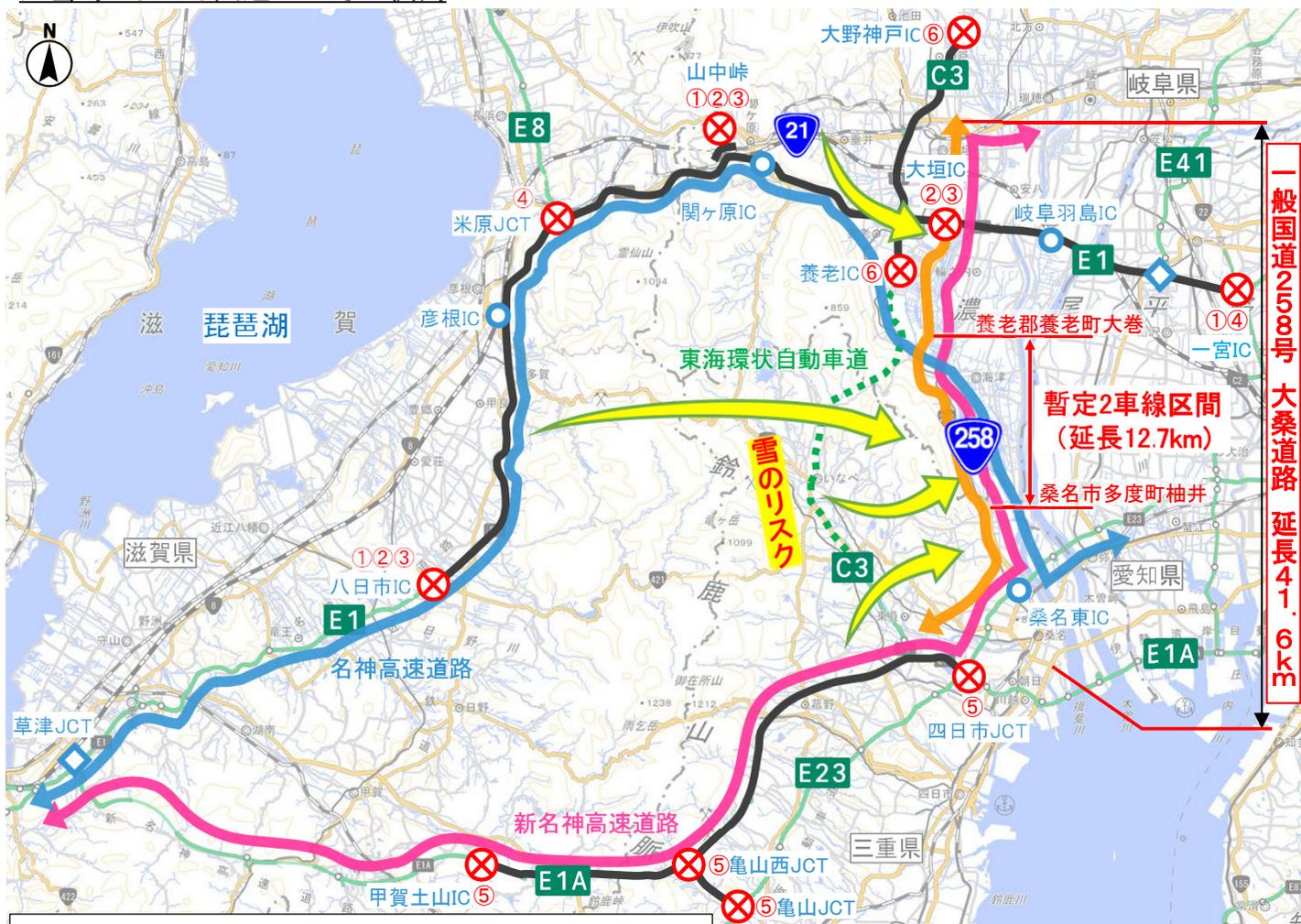
事業の進捗の見込み状況

■ 国道258号は、広域的な道路ネットワークの一部であり、大雪に伴う通行止めリスクが存在する名神高速道路や国道21号、新名神高速道路、東海環状自動車道等を相互に繋ぐことで迂回路としての役割を果たす等重要な路線。

ようろう ようろうちょう おおまき くわな たどちよう ゆい

■ 養老郡養老町大巻～桑名市多度町柚井(延長12.7km)は、関係機関との調整を踏まえ整備を実施します。

大雪時における国道258号の役割



- 大雪に伴う通行止め区間(R3,R4)
- ← 名神、R21通行止め時に迂回路として機能するルート(大桑道路・新名神)
- 新名神通行止め時に迂回路として機能するルート(大桑道路・名神)
- ⇄ 東海環状通行止め時に代替路として機能するルート(大桑道路)

大雪時通行止め実績(R3、R4)

● 名神、R21通行止め時→大桑道路・新名神が迂回路として機能

	年月日※1	区間
①	R3.12.26(日) ～12.27(月)	名神高速(一宮IC～八日市IC)
		国道21号 関ヶ原山中峠
②	R3.12.28(火)	名神高速(大垣IC～八日市IC)
		国道21号 関ヶ原山中峠
③	R4.2.5(土)	名神高速(大垣IC～八日市IC)
		国道21号 関ヶ原山中峠
④	R5.1.24(火) ～1.25(水)※2	名神高速(一宮IC～米原JCT)

● 新名神通行止め時→大桑道路・名神が迂回路として機能

	年月日※1	区間
⑤	R5.1.25(水)※2 ～1.26(木)	新名神(四日市JCT～亀山西JCT) (亀山JCT～甲賀土山IC)

● 東海環状通行止め時→大桑道路が代替路として機能

	年月日※1	区間
⑥	R3.12.27(月) ～12.28(火)	東海環状自動車道 (大野神戸IC～養老IC)

※1 大雪に伴い通行止めを行った年月日

※2 R5.1.25(水) 3:50～20:10 は名神・新名神共に通行止め

大桑道路の事業進捗状況

【用地取得率】
約99% ⇒ 約99%(令和2年度末 ⇒ 令和4年度末)

【事業進捗率】
約87% ⇒ 約87%(令和2年度末 ⇒ 令和4年度末)

3. 費用対効果分析

3便益による事業の投資効果

■費用便益分析(B/C)について

$$\diamond \text{費用便益比(B/C)} = \frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故減少便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費} + \text{更新費}}$$

【事業全体】

	便益 (億円)				費用 (億円)				B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	計	事業費	維持管理費	更新費	計	
前回評価時	2,225	135	12	2,371	868	252	—	1,120	2.1
今回評価時	3,699	218	64	3,982	938	283	—	1,221	3.3

【残事業】

	便益 (億円)				費用 (億円)				B/C
	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	計	事業費	維持管理費	更新費	計	
前回評価時	503	34	4.4	542	34	69	—	103	5.3
今回評価時	375	19	5.3	399	31	55	—	86	4.6

<感度分析結果>

変動要因	変動ケース	B/C
交通量	±10%	2.9~3.6
事業費	±10%	3.3~3.3
事業期間	±20%	3.3~3.3

変動要因	変動ケース	B/C
交通量	±10%	4.2~5.1
事業費	±10%	4.5~4.8
事業期間	±20%	4.5~4.7

※1 便益算定に当たってのエリアは、「一般国道258号大桑道路」周辺の主要な幹線道路(延長約4,077km)を対象として算出。

※2 令和4年2月に公表された平成27年度全国道路・街路交通情勢調査ベースのR22将来ODに基づきB/Cを算出。

※3 今回評価より、部分供用(岐阜県大垣市楽田町～養老郡養老町大巻、三重県桑名市多度町柚井～桑名市大字小貝須字柳原)による便益を計上しB/Cを算出。
前回評価時と同様に部分供用を考慮しない場合の費用便益比(B/C)【事業全体】2.0【残事業】4.6

※4 残事業のB/C算出に当たっては、未整備区間において、事業を継続した場合に追加的に必要となる事業費の合計と、追加的に発生する便益を対象として算出。

※5 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

【前回再評価時からの変更点】

1. 将来OD表の変更(平成22年度全国道路・街路交通情勢調査→平成27年度全国道路・街路交通情勢調査)により、計画交通量が約6%減少。
2. 将来道路網条件の変更(R3年度事業化済道路網→R5年度事業化済道路網)により、国道256号堀越峠道路等が追加。
3. 費用便益分析マニュアルの改訂(H30マニュアル→R4マニュアル)により、各便益の原単位の更新、道路構造物の更新に要する費用を追加。
4. 総走行台キロの年次別伸び率の更新(H22年度全国道路・街路交通情勢調査→H27年度全国道路・街路交通情勢調査)。
5. 費用便益分析の基準年次の更新(R3年度→R5年度)。
6. 費用便益分析のGDPデフレータの更新(R3年度→R5年度)。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■岐阜県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。

なお、今後の事業の実施にあたっては、以下の内容についてご配慮願います。

- ・大桑道路は、岐阜西濃地域や滋賀方面から名古屋港や四日市港への物流軸を担うとともに、大雪時には名神高速道路や一般国道21号等の迂回路としての役割を果たす重要な社会基盤です。
- ・速やかに整備を進めるべき事業であり、引き続き早期供用に向けた事業の推進をお願いします。
- ・事業費については、最新技術の活用などによる徹底したコスト縮減をお願いします。

■三重県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。

大桑道路は、三重県北勢地域や岐阜県西濃地域における交通渋滞の緩和や地域経済の発展に寄与する重要な道路です。今後も引き続き、両地域の交通円滑化や産業振興に資する本事業の推進をお願いいたします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道258号大桑道路の事業を継続する。